（ﾘｽｸｱｾｽﾒﾝﾄ） 樹木伐採　作業手順書

No.206-1

会社名	中日本ﾊｲｳｪｲ･ﾒﾝﾃﾅﾝｽ名古屋㈱	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和6年3月25日	トラック、パッカー、連絡車	トリマー、揺動式草刈機、ハンドトリマー、剪定鋏、チェンソー、芝刈機	ﾍﾙﾒｯﾄ、切創手袋（ｸﾗｽF）、安全靴、安全ﾁｮｯｷ、蜂ｽﾌﾟﾚｰ	混合燃料携行缶
改訂日	令和7年8月25日	クレーン付トラック、高所作業車	飛散防止ネット、箒、鎌、鋸、レーキ、フォーク、ブロアー、チップソー	保護ﾒｶﾞﾈ、ﾁｬｯﾌﾟｽ、しらすんだ一受信機、救急箱	チェーンオイル
作成者	淀・佐脇			離隔保持板、消火器、ﾎﾟｲｽﾞﾝﾘﾑｰﾊﾞｰ、ｴﾋﾟﾍﾟﾝ(対象者)、墜落制止用器具	

必要資格等	運転免許証（普通、準中型、中型）、職長教育、刈払機取扱作業者、振動工具取扱作業者、ﾁｪﾝｿｰによる伐木等特別教育 小型移動式クレーン運転、玉掛、フルハーネス型安全帯使用作業、高所作業車	その他	パッカー車のスイッチ操作専門要員の配置 腕章装着又はヘルメットに明示
備考	**施工機械の選択においては、別紙の草刈作業の使用機械選定フローを参照しメンテ及び協力会社と共有を図る**		

作業工程	No	単位作業 と その主な手順	危険有害要因（予測される災害・事故）（品質、トラブルも含む）	危険要因 可能性	危険要因 重大性	危険要因 評価	危険有害要因低減対策	誰が 点検・確認	対策後 可能性	対策後 重大性	対策後 評価
準備、移動		№200　準備・片付・回送を参照									
作業	1	現地KYの実施	立入防止柵乗越用器具から転落する	2	2	4	・器具同士や立入防止柵へ固定する ・補助者を配置し器具を支える	全員	1	1	1
			立入防止柵門扉で手足を挟む	2	1	2	扉を開けたまま固定するか、出入り後に仮施錠する	全員	1	1	1
			作業範囲にある危険因子に気付かずに事故・怪我等が発生する	2	2	4	作業範囲の危険因子を確認し周知、明示等を行い、注意喚起する	全員	1	1	1
							作業前にケーブル、工作物等の有無や位置を確認、周知、明示等を行い、注意喚起する	全員	1	1	1
							作業中等に発見した場合は、上記と同様の注意喚起する	作業員	1	1	1
							ケーブル、工作物等の周囲は手刈をする	作業員	1	1	1
	2	障害物（ごみ）等の除去	法面（コンクリート、防草シート等）での転倒	3	2	6	足元に注意し、慎重に歩く、必要に応じて明示する	作業員	1	1	1
			鋭利な物で手等を怪我する	2	2	4	切創手袋等を着用する	作業員	1	1	1
			枝等で目や顔を怪我する	3	2	6	フェイスシールド等を着用する	作業員	1	1	1
	3	伐採	高木からの転落	2	3	6	・必要に応じて梯子を使用する ・梯子を使用する際は、補助者を配置して梯子を支える	作業員	2	1	2
							可能な範囲で梯子と樹木を固定する （固定出来なければ、この限りではない）	作業員	2	1	2
			保護具未装着により怪我する	3	2	6	適切な保護具の着用を確認する	全員	2	1	2
							・切創手袋を着用する ・チャップスを着用する	全員	2	1	2
			作業員同士の接触事故を起こす	2	3	6	・作業間隔を保持する ・上下作業を禁止する	全員	2	1	2
							・作業員同士、声掛けをし注意喚起する ・作業中は機械を両手でしっかり保持する	全員	2	1	2
							・キックバックに注意する ・肩より上部で作業しない	全員	2	1	2
							・無理な姿勢で作業しない ・移動時はエンジンを切る	作業員	2	1	2
			・伐採、伐倒により怪我する ・伐採、伐倒によりケーブル、工作物等が損傷する	2	3	6	・伐採方向を確認する ・伐倒範囲、方向を確認する	作業員	2	1	2
							・伐倒範囲に人等の立入を禁止する ・他作業員は退避する	作業員	2	1	2
							大径木等を伐採する際は、 倒す方向へ向けて、受け口をつくる（直径の約1/3）	作業員	2	1	2
							受け口の反対側から、木が倒れる方向に注意し、追口を切り進める	作業員	2	1	2
							必要に応じてくさび、チルホール、ロープ等を使用する	作業員	2	1	2
							伐倒した木の枝、幹を適当な大きさに切る	作業員	2	1	2
							チェーンが外れたり、切口に噛んで動かない時は、エンジンを停止してから、対処する	作業員	2	1	2

参考図（写真等）

セーフティーバイブル

樹木伐採　作業手順書（ﾘｽｸｱｾｽﾒﾝﾄ）

No.206-2

会社名	中日本ﾊｲｳｪｲ･ﾒﾝﾃﾅﾝｽ名古屋㈱	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和6年3月25日	トラック、パッカー、連絡車	トリマー、揺動式草刈機、ハンドトリマー、剪定鋏、チェンソー、芝刈機	ﾍﾙﾒｯﾄ、切創手袋（ｸﾗｽF）、安全靴、安全ﾁｮｯｷ、蜂ｽﾌﾟﾚｰ	混合燃料携行缶
改訂日	令和7年8月25日	クレーン付トラック、高所作業車	飛散防止ネット、箒、鎌、鋸、レーキ、フォーク、ブロアー、チップソー	保護ﾒｶﾞﾈ、ﾁｬｯﾌﾟｽ、しらすんだ一受信機、救急箱	チェーンオイル
作成者	淀・佐脇			離隔保持板、消火器、ﾎﾟｲｽﾞﾝﾘﾑｰﾊﾞｰ、ｴﾋﾟﾍﾟﾝ(対象者)、墜落制止用器具	

必要資格等	運転免許証（普通、準中型、中型）、職長教育、刈払機取扱作業者、振動工具取扱作業者、ﾁｪﾝｿｰによる伐木等特別教育 小型移動式クレーン運転、玉掛、フルハーネス型安全帯使用作業、高所作業車	その他	パッカー車のスイッチ操作専門要員の配置 腕章装着又はヘルメットに明示
備考	**施工機械の選択においては、別紙の草刈作業の使用機械選定フローを参照しメンテ及び協力会社と共有を図る**		

作業	4	クレーン付トラックを使用して伐採	転倒する	2	3	6	・アウトリガーを全て張り出す(※1) ・敷板を設置する（軟弱地盤等では鉄板等を敷く）(※1)	作業員	2	1	2
							(※1)上記は、路肩等の通行帯にはみ出す恐れがある際は、この限りではない	作業員	2	1	2
			荷が触れて、荷が落下する	2	3	6	・荷の重心を考慮し、均等に玉掛をする ・地切りする	作業員	2	1	2
							・荷の安定を確かめる ・荷の下に立入らない	作業員	2	1	2
							・旋回範囲内に立入らない ・操作盤から離れない	作業員	2	1	2
							合図者を配置し、指示に従う	作業員	2	1	2
	5	高所作業車を使用して伐採	転倒する	2	3	6	・アウトリガーを全て張り出す(※2) ・敷板を設置する（軟弱地盤等では鉄板等を敷く）(※2)	作業員	2	1	2
							(※2)上記は、路肩等の通行帯にはみ出す恐れがある際は、この限りではない	作業員	2	1	2
			転落する	2	3	6	墜落制止用器具を使用する	作業員	2	1	2
							バケットは2名以下で乗る （積載荷重200kg以下）	作業員	2	1	2
							必要に応じて上空監視員を配置する	作業員	2	1	2
集草、積込、清掃		№207　積込・清掃を参照									
移動		№200　準備・片付・回送を参照									

セーフティーバイブル